

平成23年度関東高等学校男子バスケットボール大会

第65回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成23年6月4日(土)

【男子】 1回戦

富士北麓公園体育館

Bコート

第1試合

県立幕張総合 (千葉)	94 $\left\{ \begin{array}{r} 17 - 24 \\ 21 - 28 \\ 24 - 22 \\ 32 - 26 \\ - \end{array} \right\}$ 100	湘南工科大学附属 (神奈川)
----------------------------------	--	-------------------------------------

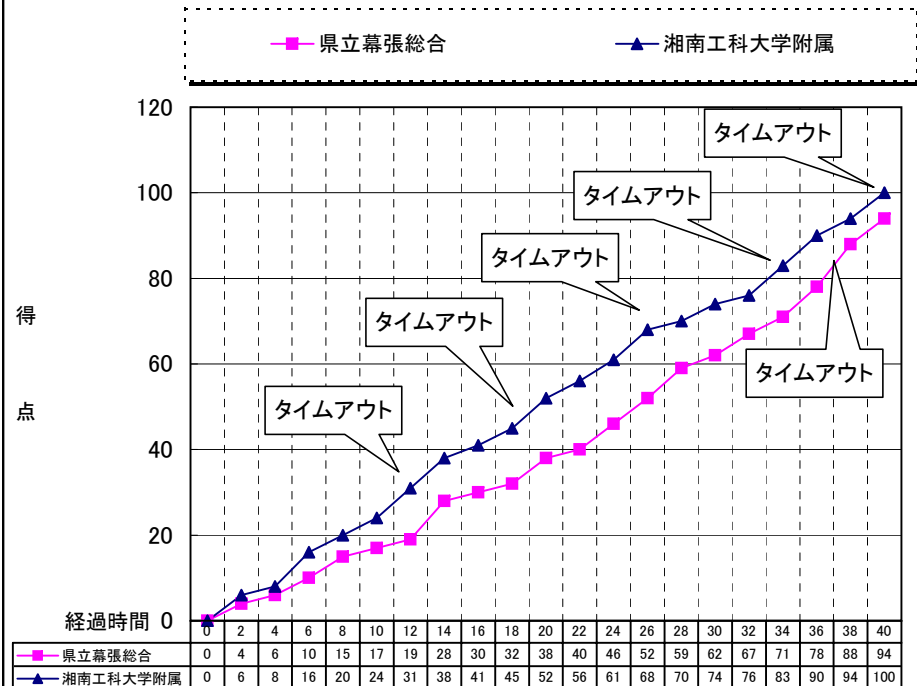
県立幕張総合

[illegible]

湘南工科大学附属

[illegible]

2分毎による得点の推移



戰評

高チーム出だしはハーフコートマンツーマンからのスタート。互いの⑤センターがゴール下を着実に決めて、互角の展開が続く。その後幕総が逆攻めからのシュートを狙うも、リングに嫌われる。逆に湘南は⑧のドライブインや⑨がミスマッチを利用し得点。試合の中盤湘南チームの得点が止まるが先に動いたのが湘南④フストプレイクからのレイアップと⑤のスタイルとゴール下ので音波に決まる。幕総も⑥の3Pや⑤のゴール下などで加点するも17-24で1Q終了。2Qも湘南入りで⑤のゴール下、⑨のパワープレイで突き離す。ここで幕総のタイムアウト。その後、幕総は⑥のゴール下や⑤のリバウンドシュートで反撃するが、逆に湘南も⑧のドライブや④の3Pで譲らない。流れは湘南ペースで前半終了(38-52)

その後、点差を少しでも詰めていき、最終、流れが変ったのは、中盤、最終⑤のシュートやゴール下、⑥のプレイクアウトの3Pが決まる。その後も①のリバウンドが起点となり、⑥の3Pが高確率で入り、残り2分半で59-69まで詰める。しかし、湘南も③の気迫あるリバウンドやゴール下のシュートで踏ん張り、3Qを62-74で終える。4Qの出だしは最終のミスから始まるも、①のシュートでつづく。湘南は⑤のドライブに対し、最終が4つ目のファール。その後も湘南は④の3Pや②と①のコンビプレイで点差+68-81となり、最終タイアップ。残り4分には最終⑤が退場。しかし、最終の⑥⑫を起点としてアツパンボナプレイで反撃。④がリングに打ち向く続け残り3分半で86-92の6点差で湘南がタイムアウト。湘南も⑤⑥の活躍で点差を詰ませたい。残り50秒には最終③が3Pを決めるも、湘南は慌てず、ファールをもらい、フリースローを確実に決めてゲーム終了。最後まで目が離せない白熱した最終ゲームであった。

主 審 安 西 鄉 史

副 審 荻 野 健

記入者 西原 哲 大